

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	オートマトン理論		
英文授業科目名	Theory of Automata		
開講年度	2004年度	開講年次	2年次
開講学期	4学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	専門科目-専門共通科目-選択科目		
開講学科・専攻	情報工学科		
担当教官名	笠井 琢美		
居室	西9-506		

公開E-Mail	授業関連Webページ
kasai@cs.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
<p>有限オートマトンはコンピュータを抽象化した数学的モデルである。 オートマトン理論は、形式言語理論、計算理論、コンパイラ、プログラム設計、データベースなどの情報工学、ソフトウェア科学における不可欠の基礎知識である。有限オートマトンに関する基礎的事項を講義する。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
特になし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
特になし

【教科書等】
岩田、笠井著『有限オートマトン入門』（森北出版）

【授業内容とその進め方】
<p>(a) 授業内容 第1?3回：有限状態機械、順序機械、有限オートマトン 第4?6回：非決定性有限オートマトン、決定性有限オートマトンとの関係 第7?9回：正則表現、正則表現と有限オートマトン 第10?12回：正則でない集合、最小状態数のオートマトン 第13?14回：正則集合の閉包性、代入と準同型写像、一般順序機械 第15回： 期末試験</p>

電気通信大学 平成16年度シラバス

(b) 授業の進め方：

授業内容の理解を深めるために演習問題を解く。授業を聞いているだけでは不十分であり、問題を解くことによって諸概念を理解できる場合も少ない。授業中にも演習を行う。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a) 評価方法：

原則として期末試験の成績に基づいて総合評価を行う。

(b) 評価基準：

以下の到達レベルをもって合格の最低基準とする。

- (1) 有限オートマトンの動作を説明することができ、簡単な有限オートマトンを構成できる。
- (2) 非決定性有限オートマトンの動作を説明することができる。
- (3) 正則表現と有限オートマトンの関係を説明できる。

【オフィスアワー：授業相談】

水曜 16：15?17：45

【学生へのメッセージ】

オートマトンの状態遷移の概念は、情報工学のさまざまな分野に現れる。また非決定性など今後の勉学に必要な概念も出てくるので、これらを正しく理解して欲しい。

【その他】